

令和5年度第2回旭川市いじめ防止等連絡協議会

会議の概要	
日時	令和6年3月22日（金） 午後2時00分から午後3時30分まで
場所	子ども総合相談センター2階 研修室・会議室1・2
出席者（委員）	9名 水野君平，福澤 秀，高野拓実，末木良典，小西出永娘，富樫祐一， 佐伯教道，安田小響，宮嶋睦子（敬称略）
出席者（事務局）	（学校教育部）品田部長，眞田次長，角地副主幹，樋口主査 （いじめ防止対策推進部）鎌田課長
会議の公開・非公開	非公開（旭川市情報公開条例第8条該当：個人情報を取り扱うため）

会議録

1 開会

2 第1回会議録の確認

3 議 題

(1) 議題1 旭川市いじめ防止基本方針の改定について

※事務局から，旭川市いじめ防止基本方針の改定について説明

（会長）

- ・事務局から旭川市いじめ防止基本方針の改定について説明があったが，委員の皆様から何かないか。

※特になし

(2) 議題2 旭川市のいじめの状況等について

（会長）

- ・事務局から旭川市のいじめの状況等について説明があったが，委員の皆様から何かないか。

（委員）

- ・事務局からいじめの認知が増えていることについて説明があったが，本人からの訴えが増えていることが要因なのか。

（事務局）

- ・各小中学校においては，年3回のアンケート調査の実施及び教育相談を行い，積極的に児童生徒の悩みを聞く体制を整えている。また，ストレスチェックを行い，気になる児童生徒がいた場合については，教員の方から児童生徒に声掛けを行うようにしている。
- ・年間を通した学校の取組が浸透したことによって，いじめの認知の増加につながっているものと認識している。

（会長）

- ・学校における認知の実態等についてご意見を伺いたい。

（委員）

- ・今年度，旭川市の小中学校において，積極的にいじめを認知しようとする意識が高まっている。
- ・些細なトラブルでも，いじめとして捉え，組織的に対応している。

（会長）

- ・SNS等のトラブルの発生や対応状況について，警察の立場からご意見を伺いたい。

（委員）

- ・児童生徒が被害者になるSNSトラブルは，増加傾向にある。
- ・近年，児童生徒は，SNSの中で交友関係を広げる傾向にあり，SNSに起因して犯罪に巻き込まれるケースが多い。

(3) 議題3 令和6年度のいじめの防止等の取組について

※事務局から、令和6年度のいじめの防止等の取組について説明

(会長)

- ・事務局から令和6年度のいじめの防止等の取組について説明があったが、委員の皆様から何かないか。

(会長)

- ・困難ケースの定義について教えていただきたい。

(事務局)

- ・困難ケースについては、本市独自の枠組みであり、重大化・長期化につながりやすい事案について整理したものである。
- ・例えば、いじめによって被害児童生徒が欠席した事案や、SNS等インターネット上でトラブルになった事案等が発生した場合については、学校から困難ケースとして報告を受けている。

(会長)

- ・学校いじめ防止基本方針の改定について、学校の立場からご意見を伺いたい。

(委員)

- ・現在、各学校では、旭川市いじめ防止基本方針の改定に基づき、学校いじめ防止基本方針の改定を進めているところである。まずは、改定のポイントについて全教職員で共通理解を図ることが大切であると考えます。
- ・本校においては、校内体制においては、生徒指導担当を増員し、いじめ対応により一層、丁寧に取り組むことができるようにしたいと考えている。
- ・学校いじめ防止基本方針については、保護者や地域の方にも分かりやすく説明する必要がある。例えば、年度当初に行うPTA総会や学校運営協議会等の場で学校教育目標の設定と関連付けていじめ防止対策について説明することが考えられる。

(会長)

- ・学校が保護者や市民に対して、いじめ防止対策について分かりやすく説明することは、信頼関係の構築につながるのと同時に、いじめ事案発生したときにも協力を得やすくなる。

(会長)

- ・学校・教育委員会では、人権教室を開催するとのことだが、人権擁護委員協議会の立場からご意見を伺いたい。

(委員)

- ・人権擁護委員協議会では、児童生徒に対して、「人権の花」運動や人権教室等の取組を通して、人権啓発活動を行っている。
- ・来年度は、市教委から依頼を受け、中学校第1学年の全生徒を対象とした人権教室を実施する予定である。

(会長)

- ・学校・教育委員会では、「人権に関する学習」を実施しているとのことだが、法務局の立場からご意見を伺いたい。

(委員)

- ・法務局では、人権教育の観点から「人権教育作文コンテスト」を実施しており、児童生徒の人権意識を高める機会として位置付けている。
- ・近年、「人権教育作文コンテスト」では、SNSに係るいじめ事案が話題になることが多い。

(会長)

- ・学校では、令和5年度から、ストレスチェックの実施や学校いじめ対策組織会議へのスクールカウンセラーの参加に取り組んでいるとのことだが、臨床心理士の立場からご意見を伺いたい。

(委員)

- ・今年度は、スクールカウンセラーの立場で学校いじめ対策組織会議に参加する機会が多かった。
- ・年度当初、学校は、認知の判断について悩んでいる様子も見られたが、年間を通じて、積極的に認知する意識が高まり、小さな芽を見逃さずに、組織的に見守ることの意義を実感しているようである。
- ・今後は、保護者や地域の方に学校が行っているいじめ対策の取組について分かりやすく説明し、理解を得ることが大切である。

(会長)

- ・教育委員会やいじめ防止対策推進部から、令和6年度のいじめ防止等の取組について説明があったが、旭川民生委員児童委員連絡協議会の立場からご意見を伺いたい。

(委員)

- ・旭川民生委員児童委員連絡協議会では、毎月1回定例会を行っている。旭川市いじめ防止対策推進部が実施する出前講座について興味があるので、ぜひお願いしたい。
- ・各地域の民生委員は、小学校の入学式後の5日間、児童の登下校の様子を見守る活動を行っている。その際に、いじめ防止に係る旗等があるのであれば、交通安全と併せていじめ防止の啓発も行いたいと考えている。
- ・各地域では、「地域に住んでいるみんなで子どもたちを見守ろう」をキーワードに、挨拶を大切にされた関係づくりを進めたり、夏休みのラジオ体操に取り組んだりしている。このような取組を進めることが、結果的にいじめの防止につながるものと考えている。

(4) 議題4 各機関等の取組について

※特になし

(5) 議題5 その他

(会長)

- ・議題の5点目「その他」について、委員の皆様から、何かあるか。

(委員)

- ・学校や教育委員会が、いじめ問題に真剣に向き合っている一方で、保護者の意識が低いように感じる。
- ・市では、地域と連携したいじめの防止等の取組を推進しているが、今後も、様々な機会において、保護者や地域の方にいじめ事案によって苦しんでいる児童生徒がいることについて啓発していく必要がある。

(委員)

- ・教育委員会やいじめ防止対策推進部には、報道機関に対し、学校がいじめの防止等に精力的に取り組んでいることや旭川市いじめ防止等連絡協議会でいじめの防止等の取組について議論していることについて、報道するよう働き掛けていただきたい。

(会長)

- ・いじめの研究を行い、その成果を発信することで、児童生徒が安心して生活できる社会にしたいと考えている。来年度において、アンケート調査を取り入れたいじめ問題に係る調査研究を進めることを予定しており、各学校に協力をお願いしたい。

4 閉会